

優雅な調べ

～ヨーロッパ宮廷の音楽とダンス～

* フランスの宮廷舞踏とバレエ

～ J.B.リュリ作曲《ファエトンのシャコンヌ》

* イギリスのカントリーダンス

～ J.プレイフォードの曲集から《グリーン・スリーブス》

* スペインの情熱

～《スペインのフォリア》

* 愛されるドイツ音楽

～ J.S.バッハ (C.ペツォルト) 作曲《メヌエット》 ほか



市瀬 陽子 (バロックダンス)

立教大学、東京芸術大学卒。舞踊史研究者、ダンサー、振付・演出家。バロック・ダンスによる舞台作品“優雅な宴 les fêtes galantes” (1992/93)、“ラ・ヴェルサイエーズ la Verailaise!” (2012) 等を制作、サントリーホール主催企画 (2009/2012) への振付作品などを発表。近著に『バレエとダンスの歴史』(平凡社、鈴木晶編著、2012年)、DVD『時空の旅～バロックダンス・ファンタジー』解説(エリアビー、2010年レコード芸術特選版)等。ダンスの普及・指導においても、子どもを対象にしたレッスンから専門家のための講座まで幅広く行い好評を博している。聖徳大学准教授、東京芸術大学、洗足学園大学、昭和音楽大学、沖縄県立芸術大学講師。

竹内 太郎 (ギター・リュート)

京都生まれ、立教大学卒業後、ロンドンのギルドホール音楽院でナイジェル・ノースに師事。文化庁派遣芸術家としてバッハのリュート作品とバロック時代のギター音楽を研究。ベルリンフィル、啓蒙時代オーケストラ、ナイジェル・ケネディ、レイチェル・ボッジャー、エマ・カークビーなどと共演。日本では映画「耳をすませば」のリュート演奏、大河ドラマ「秀吉」の音楽監修と演奏などを行う。ソロCDには「フォリアス!」「アフエットソ」「ギターの世紀」「可愛いナンシー」などがあり、「古楽器のコレクトレーン」「高貴な演奏」などと評された。古い音楽に関する執筆や学会でのプレゼンテーションも多い。英国リュート協会前理事、ケンブリッジ大学アーリーギター研究会会員。ロンドン在住。 <http://tarolute.crane.gr.jp>

野口 真紀 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

国立音楽大学卒業。在学中よりヴィオラ・ダ・ガンバを神戸 榎樹美氏に師事。W.クイケン氏のマスタークラスを受講するなど研鑽を積む。ボストン古楽フェスティバル、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン等の音楽祭、NHKFM「名曲コンサート」、NHKETV「N 響アワー」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等に出演。ルネサンス、バロック音楽の他、雅楽・邦楽器、朗読、ダンス、絵画、映像とのコラボレーションや現代曲の初演など、幅広い活動を展開している。また、神戸 榎樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団メンバーとして3度の北米ツアーに参加、好評を博す。CD録音多数。神戸 榎樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団メンバー。日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会会員。

石川 陽子 (チェンバロ)

武蔵野音楽大学卒業、同大学院ピアノ専攻修了、東京藝術大学大学院古楽科チェンバロ専攻修了。よんでん文化振興財団奨学生。ピアノを石川登志子、上原興隆、前田千絵、松野眞理子、中根伸也、チェンバロを岩淵恵美子、大塚直哉の各氏に師事。チェンバロ奏者、ピアノ指導者として活動。「チェンバロのある部屋」主宰、チェンバロレッスンのほか、古楽コンサートやチェンバロ体験教室を開催。2015年度高松市文化奨励賞(新人部門)受賞。古楽アンサンブル Reine メンバー。e-onkyo にて、日本オーディオ協会より「輝くチェンバロ YOKO ISHIKAWA」を配信中。現在、香川短期大学非常勤講師、四国学院大学メサイア合唱団伴奏者。日本ピアノ教育連盟、全日本ピアノ指導者協会、日本チェンバロ協会会員。

♪ バロックダンス

セミナー全3回

お申し込み受付中!

第1回 10月2日

第2回 11月12、13日

第3回 12月11日

同会場

* お申し込みは、右記まで!

2016年 11月12日(土) 18:00 (17:45 開場)

サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室

チケット : 一般 2,000 円、高校生以下 1,000 円 (受講生は半額)

主催 : PTNA 香川支部バロックダンスセミナー実行委員会

お問い合わせ: ptnakagawa@yahoo.co.jp 090-2891-9978 (石川)